



議会だより

No.144

2024.1.17 発行

おめでとう



健康第一



憎まれっ子世に憚る…
とりあえず目標90歳!



苗木作り
頑張るぞ〜



運動が好きなので、特に
持久走で良いタイムが
できるように頑張りたい!



子どもたちと
スノボをしたい。



防災士会
がんばります



健康で野菜を
沢山作るぞ〜



3つ子ちゃん

色んな事に挑戦して
頑張りたいです。



地域の魅力を
「ペンネーム順吉」



勉強もラグビーも
がんばります!



冬はスキー場、春から
秋はやまなみ牧場で
待っています。

今号の写真

辰年生まれのみなさん

令和5年第4回定例会

本定例会は12月1日から12月15日までの15日間開催されました。
 諮問を含む議案26件を慎重に審議しました。

令和5年度 一般会計補正 予算(第7号)	補正前の額	93億7,482万3千円
	補正額	4億 391万1千円
	補正後の額	97億7,873万4千円

◎補正予算の主な内容

歳入	減額	・減債基金繰入金	1億8,000万円
	増額	・地方交付税 ・大吊橋使用料 ・公共土木施設災害復旧費補助金 ・まちづくり寄付金(ふるさと納税)	3億4,423万円 2,376万5千円 2,534万6千円 1億5,000万円

歳出	減額	・大吊橋施設管理運営警備業務委託 ・九重文化センター工事請負費	880万2千円 1,977万6千円
	増額	・ふるさと納税返礼委託等 ・道路橋りょう災害復旧費 ・町有施設整備基金積立金 ・ふるさと創生事業基金積立金	8,063万6千円 6,550万円 1億8,994万6千円 6,936万4千円



◎特別会計補正予算

- 国民健康保険特別会計 保険給付費、交付金返納等
補正額 15万円 総額 15億8,863万1千円
- 水道特別会計 薬品関連需要の決定、予備費充当
増減なし 総額 2億5,261万8千円
- 介護保険特別会計 高額介護サービス給付費等決定
補正額 1,659万円 総額 15億3,266万4千円
- 後期高齢者医療特別会計 広域連合保険料等決定
補正額 920万3千円 総額 1億7,270万3千円

追加議案

(令和5年度一般会計補正予算(第8号))

補正前の額	97億7,873万4千円
補正額	2,500万円
補正後の額	98億 373万4千円

◎補正予算の主な内容

歳入	財政調整基金繰入金	2,500万円
歳出	人事院勧告に伴う人件費等	2,500万円

追加議案

(令和5年度一般会計補正予算(第9号))

補正前の額	98億 373万4千円
補正額	1億 42万6千円
補正後の額	99億 416万円

◎補正予算の主な内容

歳入	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	1億42万6千円
歳出	電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業	1億42万6千円

◎特別会計補正予算

人事院勧告に伴う人件費決定

- 水道特別会計 予備費充当
増減なし 総額 2億5,261万8千円
- 飯田高原診療所特別会計 予備費充当
増減なし 総額 7,064万1千円
- 介護保険特別会計 一般会計繰入
補正額48万円9千円
総額 15億3,315万3千円

第4回 九重町議会定例会 「令和5年12月1日～15日」

議案番号	件名	付託	結果
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		同意
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		同意
議案第66号	教育委員会委員の任命について		同意
議案第67号	九重町町民の日を定める条例の制定について	総務建設産業常任委員会	可決
議案第68号	九重町防災行政無線通信施設（情報連絡施設）の設置及び管理に関する条例の一部改正について	総務建設産業常任委員会	可決
議案第69号	九重町過疎地域持続的発展計画の一部変更について	総務建設産業常任委員会	可決
議案第70号	国民健康保険税条例の一部改正について	総務建設産業常任委員会	可決
議案第71号	九重町法定外公共物管理条例の一部改正について	総務建設産業常任委員会	可決
議案第72号	九重町簡易水道事業の設置等に関する条例の制定について	総務建設産業常任委員会	可決
議案第73号	九重町簡易水道事業の剰余金の処分等に関する条例の制定について	総務建設産業常任委員会	可決
議案第74号	道路認定について	総務建設産業常任委員会	可決
議案第75号	九重町ふるさと館の指定管理者の指定について	総務建設産業常任委員会	可決
議案第76号	九重町健康診査負担金徴収条例の一部改正について	教育民生観光常任委員会	可決
議案第77号	各種集会所の設置及び管理に関する条例の一部改正について	教育民生観光常任委員会	可決
議案第78号	令和5年度九重町一般会計補正予算（第7号）		可決
議案第79号	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）		可決
議案第80号	令和5年度水道特別会計補正予算（第3号）		可決
議案第81号	令和5年度介護保険特別会計補正予算（第2号）		可決
議案第82号	令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		可決
追加議案			
議案第83号	職員の給与に関する条例の一部改正について	総務建設産業常任委員会	可決
議案第84号	令和5年度九重町一般会計補正予算（第8号）		可決
議案第85号	令和5年度水道特別会計補正予算（第4号）		可決
議案第86号	令和5年度飯田高原診療所特別会計補正予算（第2号）		可決
議案第87号	令和5年度介護保険特別会計補正予算（第3号）		可決
議案第88号	手数料徴収条例の一部改正について		可決
議案第89号	令和5年度九重町一般会計補正予算（第9号）		可決



議案第75号
九重町ふるさと館の指定管理者の指定について

岩尾 過去に複数の事業者の応募があったことがあるか、また、現在の受託者と違う事業者が受託したことがあるか。

熊谷総務課長 現在受託している事業者のみの応募、指定である。

議案質疑

新年のごあいさつ

議長 有吉 富生



謹んで新年のお慶びを申し上げます。平素より町議会に対しまして、ご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。昨年二月の町議会議員の改選におきまして新人議員三名が加わり町政の審議採決はもとより諸課題に積極的に取り組んでいます。

新型コロナウイルスが第五類相当の取り扱いになり、町の行事や地域イベントが開催されて地域に活力が感じられるようになっていきます。観光振興をはじめ地域の発展に期待するところでございます。また令和二年七月から毎年発生した豪雨災害の復旧が、災害箇所が多くて

対応できずに復旧が遅れたことへの対策に行政とともに取り組んで来ましたが、関係機関のご協力を頂きながら復旧の目途が立つてきたところです。

町の課題もたくさんあります。人口減少をはじめ少子高齢化に伴う高齢世帯、子育て支援、後継者不足等々、日常生活においても買い物難民、交通弱者は増えています。多くの問題に対する支援や対策に取り組んでいかなければなりません。これからは地域での助け合いこそ重要な生活手段となっていくと思われまます。

議会も町民の声をしっかりと町政に反映させ、生活安定、福祉向上を図りながら町民が安心して暮らせる活力ある町づくりを目指したいと思います。

新しい年が素晴らしい一年になりますよう皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



☆第4回九重町議会 臨時会 議案一覧

令和5年11月2日

議案番号	件名	結果
議案 64号	財産取得について 物件：コミュニティバス 2台 21,505,000円 相手方：有限会社 山口モータース	可決
議案 65号	長者原オートキャンプ場の設置及び管理に関する条例の全部改正について ※令和6年4月1日より長者原オートキャンプ場に加え、長者原園地についても運営を開始。	可決

人事案件

3件

同意

人権擁護委員（再任）

工藤 勝美さん（野上・野矢）



人権擁護委員

麻生 透さん（東飯田・恵良）



教育委員会委員（再任）

戸高 朋子さん（野上・拓郷）



議案第67号「九重町町民の日を制定する条例について」

昭和30年（西暦1955年）2月1日に旧野上町・飯田村・東飯田村・南山田村が新設合併して九重町となりました。5年後の昭和35年（西暦1960年）2月1日には町旗・町章が定められました。このような史実を鑑みて2月1日が町民に歴史的な史実を伝える日としても最良の選定であるとの意見に達し、適当であるとの結論に達しました。



議案第68号「九重町防災行政無線通信施設(情報連絡施設)の設置及び管理に関する条例の一部改正について」

JA玖珠九重とJA九重町飯田それぞれに設置された情報連絡施設が令和3年4月1日付けでの合併の後、デジタル化の移行に伴う工事の際に、その必要性を求められなかったため管理・運用の必要性が消失したことによるための条例改正であり、適当であるとの結論に達しました。

議案第69号「九重町過疎地域持続的発展計画の一部変更について」

令和3年度から令和7年度のこれまでの計画に、旧野上中学校校舎等解体事業を新たに加える変更となっています。2013年の閉校・統合の後10年間が経過し、建物の老朽化が進み校舎全体の危険性が高まるばかりの実情と町有施設等の有効活用計画検討委員会他の意見を尊重する立場から、今回の計画の一部変更について適当であるとの結論に達しました。



老朽化して解体予定の旧野上中学校舎

議案第70号「国民健康保険税条例の一部改正について」

令和5年7月の政令に基づき、出産被保険者が属する国民健康保険税の納税義務者に対して、区分を定めそれぞれの区分で所得割額と被保険者均等割額を減額とする内容であり、出産・子育て支援の趣旨からも適当であるとの結論に達しました。

議案第71号「九重町法定外公共物管理条例の一部改正について」

町内に散在する主に里道やそれに付随する井路や石垣等の法定外公共物の管理について、災害が多発し被害が増大している現状を鑑みると各行政区内でも復旧に困難を極めている事象は数多いと推測できます。その打開策として町の予算で原材料の支給等が可能となり復旧の一助とみなすことができる変更であり適当であるとの結論に達しました。

議案第72号「九重町簡易水道事業の設置等に関する条例の制定について」

これまで特別会計として処理されていた簡易水道事業会計について、地方公営企業会計制度の導入により現金主義・発生主義での管理に加えて、企業会計で用いられる発生主義と複式簿記を公会計に取り入れることになりました。その為に新たな条例を制定する必要が生じたものです。これまでの会計処理に加えて貸借対照表や損益計算書・キャッシュフロー計算書などの整備が求められることになります。このことは事業展開においてより透明性の高い情報を町民や議会へ示せることに繋がるものであり適当であるとの結論に達しました。

議案第73号「九重町簡易水道事業の剰余金の処分等に

関する条例の制定について」

簡易水道事業の公営企業会計への移行に伴い、特別会計の基金として積み立てていたものを減債積立金・利益積立金・建設改良積立金に整理し、その用途についても一定の制限を加えるものとしています。将来の簡易水道の経営不安に関しては、積立金の使用金額と同等の金額を資本に組み入れることで持続可能な事業形態を目指しており適当であるとの結論に達しました。

議案第74号「道路認定について」

令和5年度第3回定例会に申請された路線を新たに町道として認定するものであります。利用者の利便性や緊急時の迂回路等多面的なメリットが享受される新道として住民福祉の向上に貢献出来るものであり、適当であるとの結論に達しました。

議案第75号「九重町ふるさと館の指定管理者の指定について」

規定に基づく指定管理者の指定であり、適当であるとの結論に達しました。今後の経営に不安を唱える意見も出る中、現状で引き受けて頂く業者のいることについて賛同の意見が多かったことを付け加えます。

議案第83号「職員の給与に関する条例の一部改正について」

令和5年10月20日国の人事院勧告の閣議決定の後、国会決議を受けて初任給の増額とボーナスの0.1月分増額等が確定しました。これを受けた町職員の給与の改定であり適当であるとの結論に達しました。

教育民生観光常任委員会

審査報告

議案

2件

議案第76号「九重町健康診査負担金徴収条例の一部改正について」

今回、負担金を改正する「胸部検診」は、肺がん検診を兼ねたものですが、65歳以上の方は、結核検診も兼ねています。この検査は、結核だけでなく、肺がんの検診を兼ねたものであることから、費用徴収は可能とされていますが、感染症法の趣旨から、「65歳から69歳の結核検診も兼ねた胸部検診」は無料にすることが望ましいことから、今回の改正により無料にするものであり、適当であるとの結論に達しました。



議案第77号「各種集会所の設置及び管理に関する条例の一部改正について」

令和6年2月下旬完成予定の「後野上集会所」及び「生竜集会所」を新たに条例に加えるものであり、適当であるとの結論に達しました。

このほかに「小学校のあり方について」、「DMO」等について、担当課に質疑を行いました。

11/22

令和5年度「消防団との意見交換お出かけ議会」

日時 11月22日(水)16:00 会場 役場302会議

出席者 九重町消防団長 田吹利明 副団長 武石文六・藤原勇一・安部道和
 議会 有吉富生 岐部俊哉 野上香代子 土井眞一郎 佐々木信介 佐藤明郎 大津留敏加
 増田裕子 矢野晴美 河野克輝



【活動状況】…田吹利明団長より詳細の報告を頂きました。

- ① 消防団の年間の活動状況の説明
- ② 火災発生状況 3月～5月に15件

【消防団の課題と対応策】…議員と消防役員で意見交換を行いました。

- ① 団員確保…ケーブルテレビ広報・少年少女消防隊（現在12名）
 OBへの呼びかけ（保険加入の応援隊）・女性消防士の募集

【要望事項】…現状で消防団が是非希望する事項を聞きました。

- ① タンク車を4地区に配備 ② 大型免許取得の補助 ③ 安全靴・長靴・耐火服の支給、更新

【若い団員の意見・要望】…議員の聞き取りで若い団員の声を伝えました。

消防大会や訓練は必要か？…役員からの回答としては下記の2点です。

- 1 訓練の機会を持ち先ず隊員自らの命を守るための訓練である
- 2 理論・理屈の理解でなく、自然と体が動くための動機づけとして大会はある

【確認事項】下記の件は議会から執行部や消防本部に問い合わせて回答します。

- 消防車の購入について自治体間の購入額に200万程度の差があるがその根拠は？

大変に有意義な意見交換会ができました。議会では様々な活動をしている方々のご意見を聞かせていただく為にこれまでのお出かけ議会の形にとらわれず皆様と意見交換をしています。是非近くの議員もしくは議会事務局に連絡をください。お待ちしております！

11/7

日田玖珠議長会議員研修会

演題：『思いが伝わる言葉かけ ペップトーク』

演者：日本ペップトーク普及協会

認定講演講師(九州ブロック代表) 山下耕二氏



ペップトーク (PEPtalk) とは、自分自身や他者に対するモチベーションアップや、激励のために使われる短いメッセージのことをいいます。「PEP」には元気、活力といった意味があり、自分や相手のやる気、集中力を引き出すためのコミュニケーションスキルとして活用できるものです。否定的な言葉を選びがちでしたが、肯定的な言葉に変換してみると自分も相手も嫌な気持ちにならずとても良かった。日々使っていた言葉を変換することは難しいが日頃から意識することで変えていけることを実感しました。皆さんも一緒に変換しましょう！

今日から挑戦してみましよう！

否定的言葉

- × 失敗するな！ → ○ ベストを尽くそう！
- × どうせできない！ → ○ やって見ないと分からない！
- × 何でできない！ → ○ どこまでできる？
- × めんどくさい！ → ○ やりがいがありそうだ！

肯定的言葉

11/16

第2回 大分県町村議会議長会議員研修会

11月16日に姫島村にて、県町村議会議長会議員研修が開催されました。



本研修は、例年、県内の町村の持ち回りで開催されているもので、今年は姫島のジオパークを船上から視察するものでした。

島の周囲を巡るおよそ1時間の研修で、雄大な自然を肌で感じられ、有意義な時間となりました。

※ジオパークとは、「地球・大地（ジオ：Geo）」と「公園（パーク：Park）」とを組み合わせた言葉で、「大地の公園」を意味し、地球（ジオ）を学び、丸ごと楽しむことができる場所

10/17

大阪府茨木市議会 北部地域整備対策特別委員会 行政視察研修

10月17日に茨木市より議員7名が行政視察に九重“夢”大吊橋を訪れました。

茨木市は、安威川ダムに公園整備を行っており、国内最長人道つり橋、水上レジャー等が令和6年春に開業予定です。

自然豊かな茨木市北部地域の活性化の調査・研究のため、同様のつり橋がある九重町に来町されました。

九重町議会からは、議長、教育民生観光常任委員長が出席し、熱心な意見交換がされました。



11/15

愛媛県鬼北町議会から視察に来ました

11月15日に愛媛県鬼北町から議員11名が視察に来られました。

議会広報・住民との対話・議員のなり手不足等について意見交換を行いました。



議会広報紙について

鬼北町は年1回3月に発行
九重町は議会終了後に年4回発行

一般質問について

鬼北町 町の広報紙に行政側が作成し
掲載

九重町 個人で作成し毎号に掲載

意見交換で感じた事

鬼北町では年1回の発行なので町民がよく読むとの事。作成に時間をかけている事。各々の思いを広報紙に掲載している事。等多くの違いがわかりました。九重町は4回発行で大変ではあるが、町民には議会活動が迅速に伝えられるので良いと感じました。

住民との対話について

鬼北町 行政と一緒に各地区公民館に出向き対話
(年1回程度)

九重町 今年度は各種団体等に呼びかけ実施（現在
まで2回）

意見交換で感じた事

住民との意見交換はどちらも出向いて行っている。
鬼北町では議会単独では行っていない。

議員のなり手不足について

鬼北町 2021年無投票・2017年選挙・2013年無投票
九重町 2023年選挙・2019年選挙・2015年選挙
鬼北町ではなり手不足を感じている。九重町では今後、議員活動が町民へ理解されるよう取り組む必要もある。

第84回畜産共進会に激励に行きました

10/21

肉用牛の部

会場 別府市野口原 別府公園
九重町からの出品頭数 6頭 (県内52頭の出品)



1区 しげこ31
出品者 佐藤美知雄氏



4区 しげみひさ312
出品者 佐藤慎治氏



5区 ひさこ1
出品者 森龍昭氏



5区 まつゆき
出品者 高倉常夫氏

- | | | |
|----|--------|--------------|
| 1区 | 優秀賞 | しげこ31 |
| 4区 | 最優秀賞3席 | しげみひさ312 |
| 5区 | 優秀賞1席 | まつゆき |
| | 優秀賞 | ひさこ1 |
| 6区 | 優秀賞1席 | ゆりか32、ゆりか321 |



6区 ゆりか32
ゆりか321
出品者
(株)鷲頭牧場



10/26

乳牛の部

会場 大分市 みどりの王国
九重町からの出品頭数 1頭
(県内29頭の出品)



経産牛の部 グランドチャンピオン

ヒルアイランド ウイナーメード サイド レインボー
出品者 岡嶋 健一郎氏

町政を質す 一般質問

9名の議員が質問

当初予算は町長の施政方針を実行するための手段であり、施策に基づいて予算を編成するのでは

…………… 考え方はそのとおりだと思うが、職員から上がってくる編成の仕方も重要と考える



岩尾 茂樹

当初予算の編成方針について

岩尾 全課に対して統一的に指示したものはあるか。

日野町長 原則として第5次総合計画に沿って予算編成を行う。

熊谷総務課長 歳入においては自主財源の確保の検討を、歳出においては経常経費についてしっかりとした根拠を示すよう指示している。

岩尾 農業政策において、町独自の新たな支援策や強化策等検討しているか。

日野町長 国、県と連携しながら今の厳しい状況から抜け出せるような政策を立てていかなければならないと考えている。

教育政策について

岩尾 学校や生徒数を維持するために、町「ならでは」の施策は検討できないか。

時松教育長 このえ学園の取組みや協調学習に基づいた授業改善に努めていることは「ならでは」の施策と感じている。

また、親子で町に移住する親子山村留学の制度導入に向けて検討したいと考えている。

新たな自主財源の確保について

岩尾 新たな事業や施策を行うために、歳入（収入）を増やすための財源として、大吊橋等の使用料の値上げや命名権、宿泊税の導入等は検討できないか。

熊谷総務課長 既存の収入をしっかりと確保することが重要と考えている。新たな財源については説明責任、使用目的等が示せることも含めて検討していかなければならないと考えている。

吉光商工観光・自然環境課長 提案された新たな財源については、かなり検討が必要であり、現状においては難しいと考えている。



駆除した害獣（猪、鹿等）の取扱いについて

岩尾 ジビエ等として有効活用するために、処理施設の設置を検討できないか。

藤野農林課長 有効活用について検討していきたい。

日野町長 数年前から大分県や町内の民間業者と協議しており、有効活用できる方向で話を進めている。

町政を質す 一般質問

佐藤
明郎



戦没者への慰霊・遺族会の想いは継承すべき

…………… 町として慰霊祭などの計画はしない…

佐藤 昨年まで開催されていた戦没者慰霊祭がなぜ中止となったのか。

竹尾健康福祉課長 今まで、遺族会の主催で毎年開催いただいていたが、高齢化の影響により、参加者は減少傾向にあった。今年（令和5年）4月、遺族会から、戦没者追悼式（慰霊祭）については、幕を下ろし、その分の経費（町からの補助金）については、未来の子どもたちへ有効な活用をお願いしたい旨の文書いただいた。この意向を受け、本年度より取りやめた。

佐藤 町の姿勢として、遺族会の意志をしっかりと引き継ぎ、小規模でも開催すべきと考える。

改めて町長に戦没者に対する気持ちを聞く。

日野町長 今の九重町があるのは、郷土の平和と家族の幸せを祈りつつ、戦禍の中、尊い命を落とされた方々の犠牲によるものとの想いは変わらない。今後もこの想いは引き継いでいく必要がある。

佐藤 なぜ町の主催で開催できないのか。課長会などで、どのような議論の末、中止としたのか。

竹尾健康福祉課長 この件について議論はしていない。町長が述べたように、その想いを町民で共有し、後世に伝えていくことの重要性は増していると考えますが、慰霊祭を行う考えはない。

佐藤 意味がわからない。想いは同じだが、慰霊祭はしない。慰霊祭に代わるものを行うのか。

竹尾健康福祉課長 次世代にもしっかり引き継ぐことは必要であり、そのための手法はいろいろあるので、慰霊祭及びそれに代わる行事等を開催する考えはない。

佐藤 これ以上議論しても進まない。今日の議論では納得できない。



平和な時代に感謝（くらすボ東・利用会員の集いより）

コミバス運用のあり方

佐藤 コミバスの運行目的を単なる移動手段としてのみ捉えているところに問題がある。

例えば、①介護予防に有効とされる事業への参加者を増やすためコミバスを活用する。②子どもの進学に伴う転出を防ぐ手段として通学の利便性をコミバスで高め、地元高校への進学割合を高める。など、町の活性化につなげる公共交通が求められる。

小田まちづくり推進課長 公共交通の空白地帯をカバーすることが1つの重要な目的。許可を頂いて走らせている状況もあり、例えば便数、経路を細かく詰めていくことによって、質問内容等への対応にもつながっていくと思うが、どうしても限界がある。課題等も含め協議会の方でも次期計画に向けて協議を行っていきたい。

最大の課題は利用できない人々

佐藤 コミバスの運行には限界がある。利用したくてもできない人々を支援する方法は、協議会の中で検討されているのか。

日野町長 先の一般質問でも指摘されており、そういった方々の対応策もしっかり議題のひとつとして検討している。

「観光と農業の町を支える人づくり」 町の現状と課題解決策は？



岐部
俊哉

………… ペットツーリズム活性化に可能性大！
農業では承継者と就農コーチの発掘と育成！

令和の時代を生きる！ 第17弾「人づくり」は「町づくり」

企業誘致と雇用の確保

岐部 町の活性化についてトップセールスも含めての考えは。

日野町長 トップセールスという言葉は嫌いであるが、非常に大事なことである。企業を誘致するだけに留まらず雇用を生んだり、産業を連携させる事が本当に活力あるまちをつくっていくと考える。まだ現状で公表できるような段階ではないが、現在幾つかの企業と協議をしており、状況に応じて報告できると考えている。

観光振興

岐部 観光地の高付加価値化補助金の申請の基準を上げられないか。

吉光商工観光・自然環境課長 公募要件については、下記2点となっている。

- ①「当地に宿泊した観光客が、滞在期間中に回遊するような一定エリア・地域であれば申請を妨げない。ただし、中長期的に取組を維持、継続可能かどうか等の観点から適正なエリア設定をする」
- ②「宿泊客が滞在期間中に回遊するような一定範囲のエリア、例えば何々温泉などと一般的に呼称されている範囲の地域を想定している」

岐部 ペットツーリズムのマーケットの把握と今後の展望は。

吉光商工観光・自然環境課長 日本のペットビジネスのマーケットについては、年々規模拡大をしており、ペット関連の市場規模は2021年度に約1兆7,000億円、2024年度には1兆8,000億円に増えると予想されている。また、ペット旅行に関するアンケート調査というのがあるが、ペットを旅行に連れて行くと回答する飼い主は約70%を占めている。こうした状況を考えれば、今後非常に有望なマーケットになっていくと考えている。

岐部 KOKO ONE FES（ココワンフェス）について今後の展望は。

日野町長 KOKO ONE FESは現場に直接出向いた。将来的な可能性があるかどうかは、実行委員会の方々の思いが形になるよう行動することが一番だと思ってい

る。ただ、今回の現場の活動を見るかぎり可能性は十分あると思っている。また、人間同士の寄り添いや、ペットとの寄り添いが、本当に心の中の大切なものになってきているというのは事実である。またそれを推進していく環境も含めたワンヘルスの考え方も大事なことだと考える。だから私は十分可能性があるものと考えている。

農業振興

岐部 ファーマーズスクールや親元就農に関して、九重ならでの育成方法・助成方法を考えられないか。また就農コーチの高齢化も対策をせねばならない時期にきていないか。

藤野農林課長 新規就農者を対象としたファーマーズスクールと親元就農支援以外には特にない。また就農コーチに関しては、ベテランの方が多く、今後様々な経験と知識を後継者に伝えてもらう為にも、認定制度を受けて頂けるよう声かけをして、多くの就農コーチの発掘と育成に尽力していきたい。

岐部 具体的に椎茸の種駒の補助金は県内で最低の金額であるが値上げを考えられないか。

藤野農林課長 他市町との金額の差には、目的と制度の合理性がある。その違いが何かをしっかりと研究をし、どのような方法で支援をしていくのか真剣に検討していきたい。

部活動の外部連携

岐部 緑陽中学の部活動を令和7年度までに地域移行するための現状と障壁は。

友松教育振興課長 第1回目の協議会を終えた時点であるが、現段階での障壁として3点ある。

- ①指導する人材の確保
- ②受け入れる受皿となる団体を決定もしくは育成していくこと
- ③休日分が地域移行になると受益者負担の原則から、保護者の負担が増える事を理解していただく。以上のことを今後検討委員で協議を重ね小学生や他市町との働きかけも含めて検討をする。

町政を質す 一般質問

増田
裕子



度重なる「不祥事」、 町民への信頼回復は

…………… 住民サービスの原点に立ち返り
意識改革をはかっていく

このえまち総合サービス株式会社について 町が100%出資して作った5年間の総括を

増田 3つの目標、①行財政のスリム化、②財政運営の効率化、③安定した雇用の創出、それぞれ具体的に達成できたこと、できなかったことは。

小田まちづくり推進課長 ①以前は町が直接雇用していた吊橋や泉水、文化センターなどの業務を委託している。他にもワクチン接種やグラウンド整備その他民間でできる業務を行う受け皿づくり、シルバー人材センターと同様な業務を実施する有償サービスも担っている。②数字として示すのは難しいが、職員や行財政運営の効率化につながっていると考えます。③R4年度実績で18名（臨時等含む）雇用。

当初取り組んだ農産物の集出荷は採算性や利用者が少ないためR3年度までに撤退した。町内産品の通信販売もR1年度で事業を廃止。耕作地の放棄対策や吊橋の警備についても収益性や資格などの面から実施できていない状況。

会社の運営や方向性を町民にきちんと公開すべき

増田 決算の報告はあるが、運営や方針などについての報告はなく、町民にはわからない。今まで株主総会はどういう形でおこなわれてきたか。

小田まちづくり推進課長 毎年6月に開催。会社から代表取締役1名（R5年より2名）、取締役2名、監査役1名が出席し、株主からは町長が出席し計5名で行っている。

日野町長 今後、報告等のやり方を考え直していく。目的を別とした2つの会社を計画しているが将来の統一も視野に入れながら、進んでいく。

… 参 考 …

別府市では、外部行政運営評価委員会を設けて指定管理の状況を4段階で評価し公表している（税理士や大学教員など7名の委員で構成）

度重なる「不祥事」の再発防止のため 組織として内部統制の整備が必要である

増田 広報10月号に町長の「お詫び」が掲載されたが、現在どのように取り組んでいるか。

日野町長 問題はまず個人の自覚。住民サービスの原点に立ち返り、意識改革を図っている。

熊谷総務課長 法律順守という基本のマニュアルはある。組織会議をしっかりとやっていくことが内部統制を確立していく手段としてやってきたが、最中にまた不祥事が起こり、抜本的見直しが必要かと進めている。今まで目標や事業の組織運営管理進捗状況について副町長が各課長にヒアリングしてきたが、全体（末端）まで広げて見える化し、意識を共有していこうと始めたところである。



役場職員が町民の福祉に邁進できるように!

増田 役場職員に元気がない、現場のことを知らない等の町民の声は大きい。町民に寄り添った活気ある役場にするための抱負は。

日野町長 時代の流れは大きな要因。多種多様な考えが広がった現在、役場の業務は切羽詰まるぐらいの量に増えている。業務をスリム化して町民に寄り添い、持続可能な町づくりへの過渡期ととらえて挑戦していきたい。

不登校の対応はできているか



野上 香代子

…………… 教育支援センターほっとスペースに教育指導員、スクールソーシャルワーカー、また相談員等を配置して、日常的なカウンセリングや学校復帰に向けて学習保障等の取組を行っている

不登校

野上 不登校児童の現状は。

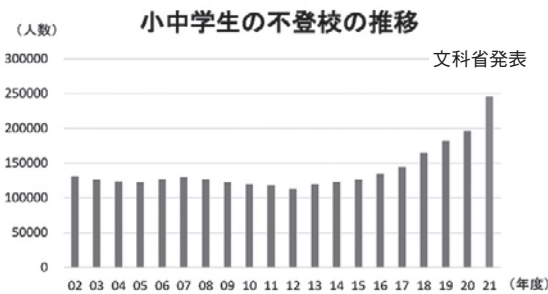
友松教育振興課長 小学校及び中学校の不登校児童生徒につきましては、令和4年度では合計15人。

野上 玖珠町に学びの多様化学校が開校予定だが九重町の児童生徒は利用出来ないか。

友松教育振興課長 区域外就学制度の規定なりを適用し受入れについても検討していただけるように今後調整を図る。

野上 これからの町の取り組み方針は。

友松教育振興課長 今の対応をさらに充実、拡充していく事といじめや不登校を未然に防ぐという取組を行う。



観光

野上 観光客数は。

吉光商工観光・自然環境課長 九重“夢”大吊橋の入場者数は4月から10月分を昨年と比較すると、令和4年は17万6,097人に対し令和5年は24万517人と約136.5%に増加、宿泊者も順調に回復している。

野上 海外からの国別訪問者数は。

吉光商工観光・自然環境課長 町内施設への聞き取りでは、韓国を中心に台湾、香港、タイが増加傾向にある。

野上 全天候型の観光施設は考えられないか。

吉光商工観光・自然環境課長 現在は無い。

DMO

野上 平成30年から協議されているが現在の進捗状況は。

吉光商工観光・自然環境課長 直近では説明会を町内で9回実施した。年明けにはしっかりとDMOの事業計画や、骨格を示せるよう鋭意準備を進めている。

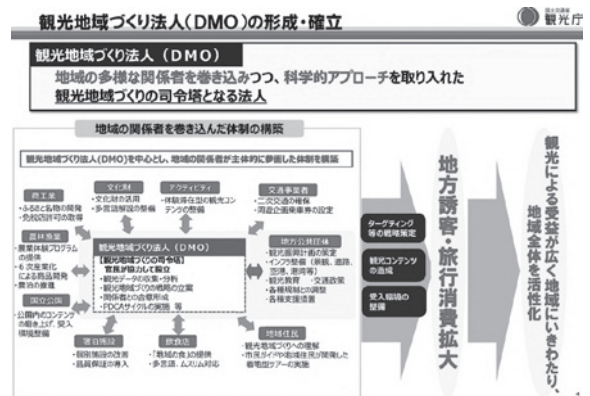
野上 組織作りの考えは。

吉光商工観光・自然環境課長 名称はこのえ町づくり公社とする。組織の形態として、町100%出資の株式会社を想定している。株式会社なので、取締役、監査役等、役員体制を検討し従業員についても協議中である。

野上 現在あるこのえまち総合サービス株式会社の中に観光部門として増資して行えないのか。

日野町長 将来的には1つの株式会社を持っていきたいが早急に立ち上げるために今の段階では別会社として進めていく。

右のQRコードで確認して下さい



災害復旧

野上 災害復旧状況は。

武石建設課長 令和2年災の河川道路では契約98%、完成64%、農地、農業施設は契約済み87%、完成47%だが年度末には70%を超える。

町政を質す 一般質問

大津留
敏加



来春からのデスティネーション キャンペーンについて

…………… 観光列車の停車は大きなチャンス

観光列車

大津留 JR久大線で来春から運行される観光列車「かんぱち・いちろく」が大分・福岡県の誘客デスティネーションキャンペーンに合わせて運行される。おもてなし駅に恵良駅が入っている。町としての観光誘客の取り組みは。

吉光商工観光・自然環境課長 観光列車の停車駅に町の恵良駅がなることは大きなチャンス。おもてなしに向けて関係団体と連携して取り組む。



県道11号線の歩道工事中



来春から観光列車が停車する恵良駅

町営水道の水系別配水量の確保はできているか

大津留 断水後の復帰の際の対応は。

武石建設課長 野上水系、東飯田水系、飯田水系の3つの水系で、通常使用については水量の確保はできている。断水後の復帰の際は、配水管が道路に埋設しており、高低差があり空気がたまりやすい箇所等は、自動空気抜き弁を設置し空気を抜いている。



野上水系の配水池

地域資源を活用したスポーツ合宿の誘客

大津留 大分県と町が連携しながら飯田高原を通る県道11号線（やまなみハイウェイ）の歩道の進捗状況は。

武石建設課長 県道11号線の片側は完了している。大分県玖珠土木事務所に確認した。引き続き早期完成に努めていくと聞いている。

東九州新幹線の久大線ルートに向けて、 地域関係市町と連携しては

…………… 協議を進めていきたい



菅原 美好



出展:令和5年11月22日 大分合同新聞社記事 一部抜粋

東九州新幹線

菅原 東九州新幹線、久大線ルートに向けて、地域関係、市町と連携しては。

日野町長 由布市、日田市の市長、玖珠町の町長と、今後どのようなルートになるか考えて、協議を進める。

待遇改善

菅原 会計年度任用職員やこのえまち総合サービス株式会社の職員に対する3～5%アップの待遇改善は。
熊谷総務課長 会計年度任用職員については、人事院勧告の給与改定に合わせて月額給やボーナスにおいて、待遇改善を行う。

時間外手当

菅原 町職員の時間外手当が、ここ数年2～3千万円を超えている。来年度予算編成において、3割カットを考えられないか。
熊谷総務課長 働き方を見直していく観点から、絶対に前年度を上回らないよう、今、予算査定をしている。

職員採用

菅原 職員採用で地元の人を優遇した採用は考えられないか。
熊谷総務課長 地域に住みなれた人たちが、役場の試験を受けて、就職していただきたいと思っている。

带状疱疹

菅原 带状疱疹のワクチン接種の半額助成を。
竹尾健康福祉課長 国内で約200自治体が導入している。国や他自治体の動向を見ながら検討していきたい。

小学校

菅原 出生数の減少で、小学校6校で複式学級の増加など考えられる。今後のあり方は。
時松教育長 今は考えてないが、新たな局面を迎えれば、検討委員会を設置して協議する。

学校給食

菅原 学校給食費の無償化で、子育て家庭の支援は考えられないか。
友松教育振興課長 給食センター運営委員会では「給食の評判が良くておいしい、今の質と内容を落とさないで、そのためなら給食費の負担は理解する」と意見の一致をしている。無償化はしない。



野矢小学校の給食風景

飼料・肥料

菅原 コロナ、世界紛争で飼料、肥料が高騰している。財政支援を考えては。
藤野農林課長 国、県の動向等を注視しながら、検討していく。

町政を質す 一般質問

矢野
春美



森林資源の有効活用と 災害を防ぐ整備を!

…………… 森林整備に対し助成を上乗せし適切な管理を促す
町有林J-クレジット活用については関係機関と協議中

国道387号改良工事について

引治工区バイパス工事

矢野 県の事業であるが、工期、完成予定は。

武石建設課長 玖珠土木事務所への確認では、令和6年度以降に用地測量、橋梁の詳細設計、地質調査などをし早期着工、早期完成に努める。

矢野 今後、地元への説明会はどのような形でなされるのか。

武石建設課長 主体が県土木事務所なので町単独での対応は考えていないが、来年度以降の説明会の際は町も一緒に参加し協力する。

矢野 地元での期成会の必要性については。

武石建設課長 すでに事業化しているので町が主体になることはないが、地元で立ち上げるのであれば止めることはない。

林業について

大径材の活用

矢野 大径材が増えている現状の対策は。

藤野農林課長 大径材の製材加工の効率が悪いことで安値での流通が現状。大径材の加工施設導入支援に取り組んではいるが、今のところ加工業者からの要望はない。

災害を防ぐ森林作り

矢野 森林環境譲与税は災害防止森林整備促進のための財源だが、災害に強い森林作りへの取り組みは。

藤野農林課長 森林の適切な整備が不可欠。国、県

などの実施している森林整備への助成を上乗せし適切な管理を促すことで災害に強い山作りをしていきたい。

町有林CO₂排出権取り引き活用

矢野 6月議会でJ-クレジット制度について調査研究するとの答弁だったが、その後の調査状況は。

熊谷総務課長 森林の登録が可能かどうか、どれくらい見込まれるか関係機関に試算をお願いしている。結果次第で積極的に取り組むか、時期を待つかの段階。

矢野 前回の答弁の中でハードルが高い、との言葉もあったが。

熊谷総務課長 町有林の大半が伐期を迎えている。主伐、全伐が多くなると試算がマイナスになる。

矢野 九州電力株式会社のJ-クレジット創出支援・活用事業を利用する方法を取れないか。

熊谷総務課長 現在、九州電力株式会社の協力をいただいて進めている。ハードルは高いが九重町は筑後川上流域でもあり、また、新たな財源の創出なども含めて検討していきたい。



令和2年度から本年度迄の 災害復旧は…

…………… 今年度末には74%くらいまで復旧



佐々木 信介

佐々木 本年度迄の災害復旧状況はどうなっているか。

武石建設課長 令和2年度の災害は、地元の業者の数ではとても賅えないような数が発生した。復旧工事の完成については、契約件数359件で47%ほどだが、今年度末には74%くらいまで進むのではないかと考えている。

佐々木 工事の完成率をみると農地の完成率が低いのは何故か。

武石建設課長 特に農地災害については、施工条件の悪いところも多く、また耕作しながらというところで、非常農期間の工事といった期間も限られてくるような復旧工事も多いことが原因となっている。

佐々木 復旧工事には町外の建設業者も見かけるが、災害などは緊急的なことなので町外からさらに来ていただいて、早めの復旧ができるようなことができないか。

武石建設課長 令和2年災に限って、玖珠郡の建設業協会、そして日田市の建設業協会にも協力依頼していただいている。



農地の災害復旧工事の様子

特定防衛施設周辺整備調整交付金について

佐々木 特定防衛施設周辺整備調整交付金については、どのように使われているか。

小田まちづくり推進課長 以前はハード事業のみに限定されていたが、現在では医療費の助成、コミュニティバスの運営費に助成等、ソフト事業にも使用することが可能になっている。

ハード事業は、道路改良事業、消防ポンプ車購入、集会所建設事業等。給食用の備品の整備事業、運搬車の購入等にも活用している。

佐々木 交付金が使われていることが分かるようにしているか。

小田まちづくり推進課長 コミュニティバスをはじめ整備した備品や施設については、交付金名を表記している。



交付金で購入された車両の表記

日米共同訓練について

佐々木 本年2月の共同訓練に引き続き2回目であるが、どのように考えているか。

日野町長 非常に緊迫した状態が、今、続いている。そういった意味での2回目の訓練だったと思う。

佐々木 町としての取り組み方、考えについては。

日野町長 住民の安心安全を守っていくことを、しっかりとやるということを、第一に考えている。

傍聴者の声



小野 日隆 さん

町議会傍聴のススメ

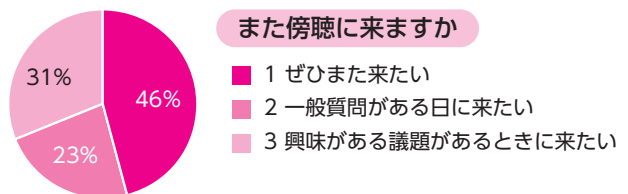
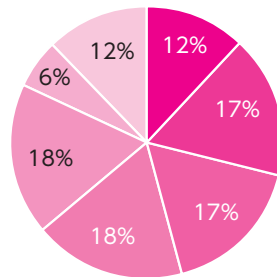
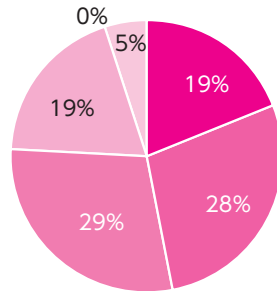
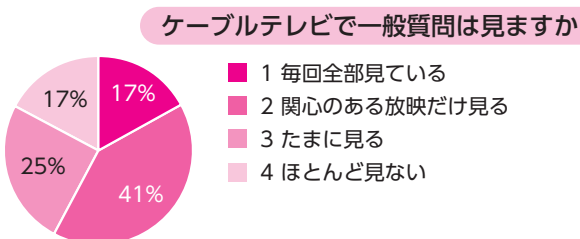
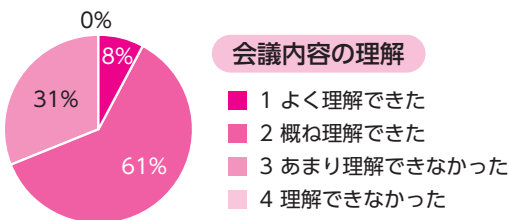
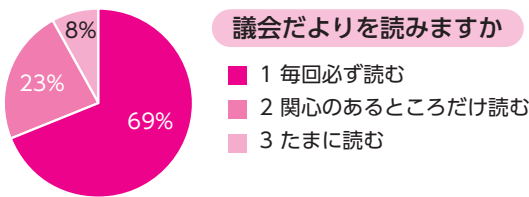
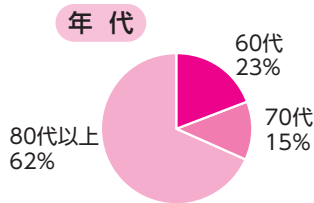
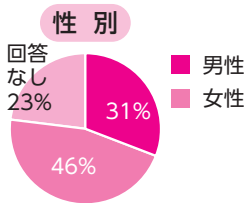
かねて町議会には大いに関心はあったのですが、なかなか都合がつかなかった事と、ちよつとした「勇気」が無く、初めて議会を傍聴したのは今年の3月定例議会でした。

議員席の11人の議員と町長以下町執行部が対面する議場の厳粛な雰囲気の中、豪雨災害復旧や給食費の無償化、町道整備、九重版DMO、ホームページ等々議員の質問、それに答弁する町長をはじめ、役場幹部の回答は、実に新鮮で刺激的で印象深いもので、町政と言うものを身近に感じた瞬間でもありました。以



来、極力都合の付く限り傍聴席に座る事を心がけています。少子高齢化が劇的に進む九重町では、町民一人にかかる「責任」はこれから益々大きくなると思います。議場に足を運んでみてはいかがですか。町政の最前線、町議会の傍聴をお勧めします。

傍聴者アンケート



アンケートにご協力いただきありがとうございました。いただいたご意見は、議員全員で共有いたします。



第20回

第16回 東飯田「通学合宿」



おいしくできたバター作り

地域の方のサポートで調理

白熱したユニカール

松岡公園、恵良駅構内までゴミ拾い

土星、木星まで見れた天体観測

東飯田地区青少年健全育成協議会では毎年「通学合宿」を開催しています。通学合宿とはふれあい交流センターで寝泊りをしながら学校に通うものです。長期間にわたる合宿を通して自主性や協調性を養い、地域の人々との関わりを深められる社会体験をしてもらう目的で地域と学校、保護者が連携し取り組まれています。また、保護者にも今後の家庭教育を見直す機会を提供する事も目的の一つとしてあげられています。

自分たちで朝起きるところから始まり、地域の方々のサポート、見守りを受けながら生活します。学校から帰ると宿題、調理、お風呂、洗濯、学びの時間と決められた時間の中での活動。テレビもゲームもできない中で何か見出せるものがあったのではないのでしょうか。子ども達の成長に期待します。

(写真は2023年10月9日～12日開催のものです。)



みんなで布団を並べて就寝

使用した部屋の掃除

※ユニカールのユニは、ユニバーサル（誰でもできる）カーリングとして、氷上のスポーツ・カーリングを参考にスウェーデンで考案されたスポーツです。

議会だよりについて
ご意見をお聞かせください。
【議会事務局：76-3814】

令和6年1月17日
発行／九重町議会 編集／議会広報特別委員会
〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野上8番地の1
☎ 0973-76-3814 ・ FAX 0973-76-3809
メール（議会事務局） gikai@town.kokonoe.lg.jp

編集後記

新年を寿ぎお慶び申し上げます。今年も辰年です。12支の中で唯一空想上の生き物の辰は竜・龍とも書きますね。活動的な男性と情熱的な女性が辰年生まれの特徴との記事があります。表紙を見ると…なるほど！

岐部 俊哉



- 広報委員長 野上香代子
- 副委員長 土井眞一郎
- 委員 岩尾 茂樹
- 委員 岐部 俊哉
- 委員 矢野 春美
- 委員 河野 克輝